

光

明

妙智寺 寺報 2月 233号

時

新年を迎え、2022年・令和四年になりました。

先日のやり取りを紹介。

ご依頼人 「ご祈祷をお願いします」

当 寺 「生年月日も教えてください」

ご依頼人 「1986年2月21日生まれです」

当 寺 「えっ〜と、昭和61年ですね。女性ですから、本厄で八方塞で年女も重なりますので、しっかり祈りましょうね」

さて、ご存知のとおり、「1986年」は『西暦』に基づく表記法です。

『西暦』は「キリストが誕生した年」を元年としています。

対しての「昭和61年」は『和暦』で、日本古来の「太陰太陽暦(月の欠けと太陽に動きを目安)」をベースに、元号を用いた表記法です。

先のやり取りの如く、『西暦』を多用するようになって久しいでしょう。

日本が西暦を取り入れたのは、明治5年(1872)で極めて近代のことです。

理由は、西洋との交流をスムーズにするため、【時】を西洋に合わせました。

しかし、自然界を相手にする農村部を中心に反発が生じ、和暦は根強く残り、今現在も併用していますし、本来、日付のほかに記していた方角の吉凶・二十八宿・方位神(恵方まきの「歳徳神」など)・九星・六曜などをもって、なにか行動を起こす前に観ることが欠かせませんから、しっかり用いています。

ちなみに明治政府は同時に次のことも改革しました。

「一世一元制」・・・天変地異や疫病等が起こると改元 ⇒ 一天皇に一元号

「定時法」・・・十二支をもって一日の時間を刻む ⇒ 二十四時間に刻む法

「週日制」・・・日曜から土曜までを一週とする週日法を追加

明治政府は、長く続いた江戸幕府からの改革や近代文化の取入れに躍起になっていた、ある意味、不安定な時代ともいえます。

改暦からちょうど150年の2022年・・・いえ、令和4年(仏教徒ですので和暦使用)表記法は時代や世間に合わせるものの、【時】を知るものであります。

「^ま今^こ正しく^{けつじょう}是れ^{だいじょう}その時なり。決定して大乘(法華經)を説く」 『方便品第二』

いま・どこで・わたしは・・・何をなすべきか。

新春大祈祷会の様子

1月9日(日)、令和4年度の新春大祈祷会を執り行いました。

少し雨が降りましたが昨年のように雪が積もることも無く、法要を行うことができました。

今年もコロナ禍ということで蜜にならないよう、子育鬼子母神大祭・各家守護神法楽祭は、9名(プラス弟子の大信も)の寺院のみで行いました。



年に1度だけ、御宝前正面に鬼子母神さまをお出しして、お開帳します。鬼子母神さまの力を頂き、各家の守護神と申し込みの特別木札や各種お守りの開眼をしました。



午後から1時間ごとに3座に分けて特別祈祷を行いました。

1座約90名の参拝者が訪れ、特別木札や交通安全等の各種お守りを胸に抱え、願いを込めてご祈祷を受けていました。トイレ守・火伏の台所守・盗難除けの玄関守も授与されました。



何があるかわからない時代、自身の考えや選択だけで善い方向に向かうとは思えません。神仏に「いのり」を捧げ、お力添えと導きを賜り、「志」をもって参りたいものです。

コロナでなければ、午前中の大祭・法楽祭から参拝していただきたいのですが、特別祈祷だけの参拝になってしまい、恒例の「開運豆まき」と「うどん供養」も割愛になり、寂しかったです。申し訳ございません。来年こそ、例年通りの大祈祷会が出来ればよいなど



思ってもやみません。

末筆になりますが、準備や当日運営お手伝いの総代さま・光明会の方々、有志の方々、まことに有難うございました。

「鬼子母神さま」は、大人から子供まで、たくさんの方を護りたいと願われますし、それがお役目です。その鬼子母神の願いの手伝いなので、まさに『鬼子母神さまの手伝い』を修められたということになります。

南無妙法蓮華經

祈祷会供養者

M・Hさん M・H家一同 T・Sさん S・Aさん
K・Tさん K・Wさん R・Oさん S・Mさん
K・Tさん I・Mさん K・Iさん(敬称略)

入 檀 報 告

12/30 新たに妙智寺の檀家に入檀されました「高木忠 様」

釈迦様のお手伝いをくださる方が増えました。宜しくお願いいたします。合掌

★第108回 妙智寺和讃会は

2月20日(日) 午前9時 和讃練習

午前10時 生け花講習

※お花の準備があるので欠席の方は13日までにご連絡下さい。

1月の妙智寺の様子 月例の回向(訪問型・来山型)は省略

1/2 S家 合格祈願

1/5 故 I家 葬儀

1/10 Y家 100日忌法事

1/20 U家 17回忌法事

1/19 N家 個人祈祷

1/22 I家 100日忌法事

1/23 H家 個人祈祷

1/27 I家 個人祈祷

1/23 S家 個人祈祷

1/23 T家 個人祈祷

1/28 M家 大黒さま開眼



2月 行事予定

□ 2月 1日(火) 午後2時

月例水子供養会

- ・ 回向札(白紙札)と牛乳・菓子を持参ください。
- ・ 生まれ得なかった《いのち》の供養です
- ・ 『永遠のいのち』を説く「自我偈(P21)」を5回読誦します

□ 2月 13日(日) 午後2時

月施餓鬼・鬼子母神祈禱会

- ・ 登録の霊位を経木塔婆に書写し、施餓鬼供養いたします。
- ・ 祥月命日や年回忌・縁のある先祖に特別施餓鬼供養します。
※なるべく早くご連絡下さいますと幸甚です
- ・ 鬼子母神さまを開帳し、ご祈禱いたします。祈願を受け付けます。
- ・ 持ち歩き用 方除け守授与。
- ・ 各家守護神法楽。酒や塩等、持参下さい(守護神様に・家の水周り等に)
- ・ 各種 相談もお受けします。
- ・ 妙法水を持参ください。

□ お題目になる唱題行・法話会・・・20日(日) 午前7時

お題目を唱え、お題目を聴いて、お題目を感じ、お題目を知り
「お題目になる」時間です。

今月の縁日

2 / 4 立春(運勢的には、この日から始まる)

2 / 15 釈尊涅槃会

2 / 16 第801回宗祖日蓮聖人ご降誕会